

子育て支援課長 殿

疾病対策課長

麻しんの流行について（注意喚起）

標記のことについては、既にご承知のとおり、大阪府及び大阪市を中心に患者の発生が続き報道発表されているところです。
本県の県民も、大阪市内をはじめとする商業施設等への訪問や東海道新幹線等の公共交通機関を利用される方も多く、感染の機会が増えている状況です。
麻しんウイルスの感染力は非常に強く、空気中に漂うウイルスを吸い込むだけで感染が成立するため、保育室等の閉鎖空間で1人が麻しんを発症すると、同室にいた乳幼児及び職員に感染し、免疫を持っていない者は100%発症すると言われております。予防接種を受けていない乳児は、免疫を持っておらず、また、成人においては現在29歳から46歳の人々が免疫の獲得に十分な予防接種（2回接種）を受けていない可能性があります。
そのため、下記のとおり対応していただきますよう、管下の施設等に周知をお願いいたします。

記

【保育所等における対応】

- 定期予防接種を受けるよう積極的に勧奨する。
- 麻しんワクチンの予防接種歴を確認する。
- 園児の体調管理、健康観察を強化する。
- 職員の健康管理を徹底する。
- 保護者に対して正確な情報を提供する。

【麻しんにかかっているかもしれない場合】

- 対象者は別室へ隔離し、外出は控えさせてください。
- 対象者へ対応する場合は、可能な限り麻しんの罹患歴又は抗体があることが判明している者に限定してください。
- 事前に医療機関に電話し、麻しんの疑いがあることを伝え、医療機関の指示に従い、直接医療機関を受診することがないよう、指導してください。

【参考】（疫学要件等）

- ※ 「麻しんの疑い」があるのは次の場合です。
 - 1 症状（発熱、せき、鼻水、眼球結膜の充血、発疹等）があり、麻しん患者と接触していた場合
 - 2 麻しん流行国（特にアジアの国々）への最近の渡航歴がある場合
- ※ 大阪府及び大阪市が報道発表している患者の行動状況は次のとおりです。
 - 2月3日～10日 あべのハルカス近鉄本店
(フロア等の詳細は大阪市報道資料参照)
 - 2月8日、2月10日 JR東海道新幹線
(時間帯及び乗車便名等詳細は大阪府報道資料参照)

担当：疾病対策課感染症係
TEL 0742 (27) 8612 (直通)
FAX 0742 (27) 8262